

副受信機設置工事

特記仕様書

令和3年12月

## 第1章 総 則

### 1. 適用の範囲

本仕様書は、「副受信機設置工事」に適用する。

- (1) 本仕様書に記載している発注者とは、一般財団法人沖縄美ら島財団（以下「甲」という）をいい、受注者とは本工事の受注者（以下「乙」という）をいう。

### 2. 作業目的

本工事は、海洋文化館、総合案内所、夕陽の広場レストハウスに副受信機を設置する工事である。

### 3. 作業場所

国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区

海洋文化館、総合案内所、夕陽の広場レストハウス

### 4. 工期

契約締結日の翌日～令和4年3月10日

### 5. 作業概要

- (1) 副受信機設置場所の確定
- (2) 自動火災報知設備本体から副受信機への信号線引き込み作業
- (3) 副受信機設置完了後の機能試験
- (4) その他（工事に関する消防手続等）

### 6. 必要書類の提出

- (1) 施工箇所図面
- (2) 施工写真

### 7. 支払い

支払いについて、完了払い及び前払いとし、前払いの請求を行う場合は契約書に定めるとおりとする。

## 第2章 一般事項

### 1. 適用法令・仕様等

本工事の実施にあたっては以下の法令及び仕様によるものとする。

- (1) 契約書
- (2) 消防法
- (3) 労働安全衛生法
- (4) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- (5) その他関係法令及び規格

### 2. 現場代理人

現場代理人は、災害防止責任者を兼務することができる。作業中は現場常駐としやむを得ず現場を離れるときは、あらかじめ代務者を定め、監督職員の下承を得ること。

### 3. 現場代理人・災害防止責任者選定基準

現場代理人は、元請けとして同種工事で現場経験を有する者とする。

作業の直接指揮の職務を行なわせるために選任した者を災害防止責任者と呼び、元請けとして同種作業で現場経験を有するものとし、いずれも同種作業に係る関係法令と事故やヒヤリハット事例に精通している者であること。

### 4. 災害の防止

作業を実施するにあたって、常に安全の確保に細心の注意を払い、労働安全衛生法等の諸法令を遵守し、作業員の人身災害の防止に努めるのはもちろんのこと、第3者に災害等を及ぼさないこと。なお、災害が発生した場合は速やかに適切な処置を施すとともに監督職員に報告すること。

### 5. 諸届

作業進行に必要な諸手続は、乙において遅延することなく行うこと。

### 6. 施工管理

- (1) 作業着手前の現場調査および準備は万全を期すこと。
- (2) 協議はすべて書面にて行い、所定の協議書を添付すること。
- (3) 工程管理を厳重に行い、遅れがないように努めること。
- (4) 作業着工前および現場施工期間中は作業に関わる打ち合わせを適宜行い、進行状況等必要事項について確認すること。

## 7. 契約不適合責任

本工事完了後、乙の責任において不良箇所が生じた場合は、乙の負担にて適正且つ即座に措置を講じ、運用に支障をきたさないようにしなければならない。

※(瑕疵対応) 瑕疵対応期間は本工事完了後1年間とする。

## 8. 機密の保持

- (1) 本工事の遂行により知り得た情報(個人情報含む)の厳正保持について十分配慮し、第三者に公開または漏らさないものとする。
- (2) 甲から提供された情報(個人情報含む)を適切に管理し、情報の紛失、破壊、改ざん漏洩等が生じないように万全の対策を講じることとする。
- (3) 機密の保持については、本工事契約の終了にかかわらず効力を有する。
- (4) 甲のソーシャルメディアポリシー(Facebook や Twitter など SNS の企業利用に関するガイドライン)により、本工事の関係者の不適切な投稿をきっかけに、公園利用者を不快にさせるだけでなく、公園管理者及び関連会社の信頼を失墜させることがないように、行動を心がけること。

## 9. その他

- (1) 乙は各関係法規に準拠すると共に施工法、災害防止処理等に関して監督職員の必要と認めた指示に対して、遅延なく従うものとする。
- (2) 作業を実施するために車輛を入園させる場合は、当公園の入園許可を受け、「公園内車輛運行厳守事項」を厳守すること。
- (3) 本工事を行うにあたり、乙は海洋博記念公園の運営に影響を与えないよう履行するものとし、影響がでることが想定される場合は、事前に監督職員と十分に調整すること。
- (4) 本仕様書に記載のない事項または疑義が生じた場合は、監督職員と協議のうえ本工事の履行にあたるものとし、乙の一方的な解釈によってはならない。
- (5) 本工事において、工事目的物及び工事材料等について、火災保険、建設工事保険その他保険(これに準ずるものを含む)に加入しなければならない。

## 第3章 安全対策

### 1. 安全事項

本工事は、運用中の施設内での作業となるため、乙は作業内容の把握はもとより、毎日の作業、作業の動線、作業区画、安全通路の確保等について作業前に監督職員及び関係機関と綿密な調整を行い、人身事故、諸施設損傷の絶無を図ること。

### 2. 安全管理体制

#### (1) 安全組織

乙は安全組織を確立し、安全に関する連絡、調整の実施に万全を期すること。

#### (2) 災害防止

乙は作業現場の安全性を確立し、安全の確保に努めること。

#### (3) 作業用機械、工具類の点検

作業に使用する機械、工具類は、毎日の使用前に必ず点検を行うこと。

### 3. 環境対策

乙は本工事にあたり、現場付近の環境及び立地条件を十分に把握し公害防止に努め、人身及び施設に関する公害並びに公園利用者に迷惑となる事態の発生を未然に防止するために万全の措置を講じなければならない。

### 4. 粉塵・騒音対策

作業区画内及び周辺部分に対して、粉塵の飛散及び騒音の発生などにより、公園利用者に支障をきたさぬように十分配慮し施工すること。

### 5. 火災防止

乙は火災の防止に万全且つ適切な措置を講ずるものとし、塗装剤や溶剤等引火性の物は法令その他に準拠して保管しなければならない。

### 6. その他

(1) 作業中に異常が発見された場合は、速やかに監督職員に連絡し、指示を受けること。

(2) 作業方法や作業環境から安全の確保が困難と予見される場合は、甲と綿密な打ち合わせを行い、適切な措置を講じた上で作業を行うこと。

## 第4章 工事仕様

### 1. 一般事項

本工事は運営中施設での業務であるため、運営に支障をきたさぬよう職員、公園利用者、環境への安全を考慮した計画であること。尚且つ施工後の営業に支障をきたさないようにすること。

### 2. 内容

- (1) 副受信機設置場所の確定
- (2) 自動火災報知設備本体から副受信機への信号線引き込み作業
- (3) 副受信機設置完了後の機能試験
- (4) 工事に関する消防への手続・立会

### 3. その他

- (1) 自動火災報知設備(P 型 1 級受信機)はニッタン製である。